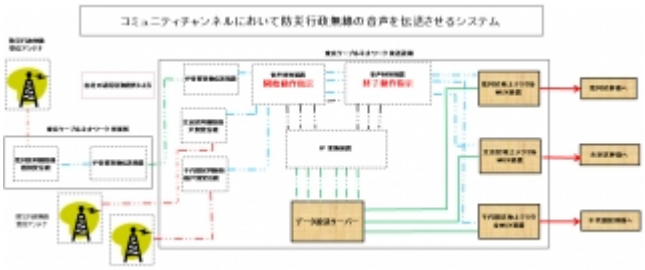
聞こえにくい不安を解消！荒川区・千代田区・文京区で「防災行政無線の音声をテレビで聞く」サービスの実証実験



東京ケーブルネットワーク株式会社（以下 TCN、本社：東京都文京区、社長 棟田和博）は、住友電気工業株式会社（本社：大阪市中央区、社長 松本正義）、ならびに株式会社メディアキャスト（本社：東京都渋谷区、社長 杉本孝浩）の協力のもと、「ケーブルテレビのコミュニティチャンネル」を活用した国内初となる自治体防災行政無線の音声をテレビから発声させる実証実験を4月13日～6月末日の期間で実施いたします。

当実験は、荒川区・千代田区・文京区の協力を得て、住友電工が提供する地上デジタルHD･SD自主放送センター機「DME-3501」のエンコード技術、ならびにメディアキャストが提供する統合型データ放送ソリューション「DataCaster M3（データキャスターエムスリー)」をベースとするデータ放送技術等を活用し、テレビ視聴者側の追加設備を不要とした情報伝達手段の確立、地域社会への効果的な安全安心サービスの提供を目的とし、多様化するサービスを各世代に合わせた最適な形でご利用いただくための手法、操作性、コンテンツ展開などの調査を行うものです。

当実験の対象となる仕組みは
① 地上デジタル 11 ch（TCNコミュニティチャンネル）を選択
② その後リモコンの黄色ボタンを押す
という簡単な操作だけで、防災行政無線の音声が明瞭にテレビから聞くことができる、画期的な内容です。

都心部に位置するTCN事業エリア内、約184,000世帯を対象にし、特に都心部で多く聞かれる「防災行政無線が聞こえにくい」という声に、広く普及している地デジTVを活用した仕組みで補完することが可能となります。

今後、当実験の検証をもとに、お客様と直接つながっているケーブルテレビの特徴を活かし、お客様宅の1台毎のテレビに向けた各種情報の提供、操作性の向上や次世代サービスへの活用等の検討を行います。
TCNは、お客様にとって「なくてはならないネットワーク」の実現を目指し、様々な取組を今後も積極的に具現化してまいります。？

◆「防災行政無線の音声をテレビで聞く」実験概要

◇期間：
2015年4月13日 ~2015年6月30日 （予定）
◇内容
：
①防災行政無線の音声をテレビで聞くことができるサービス
②行政からの緊急メールをオーバーレイで画面に表記させる
◇実験モニター【対象者】
・東京ケーブルネットワークのテレビ接続者
・アンケート、インタビュー調査に回答可能な方
町会・自治会役員を中心としたモニター、30名程度を予定

【時期】
2015年6月　アンケート実施

【その他】
アンケート内容として、本実験内容だけではなく、同時開始となる約100の町会・自治会情報が掲載されている「町会情報をデータ放送で視聴するサービス」（※以前までは地デジテレビにLANケーブルを接続する必要がありましたが、今回、放送波だけで見られるよう改良しました）や、オーバーレイ表記などについてもご意見を頂戴いたします。

◇対象エリア：
東京ケーブルネットワーク接続エリア

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com